

セ タ ガ ヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2017.7 No.159

今月のトピック

特集●

自然と社会をつなげる回路 ～エコロジカル・デモクラシーという考え方～

まちの市民力！ ● おひるのかほり

◎せたがや災害ボランティアセンターレポート



イラストレーション ● えのみ

生まれてこのかた世田谷で育ちました。
枝豆とほうれん草とちくわが好きです。
それから、好きなものに向き合って、描き
出すことも大好きです。

●わたしの世田谷

昔、世田谷のとあるマンションの垣根
の下に、秘密の手紙を埋めました。

自然と社会をつなげる回路 ～エコロジカル・デモクラシーという考え方～

「エコロジカル・デモクラシー」略してエコデモ。自然・生態系（エコロジー）と社会（デモクラシー）の両方を一緒に考え、新しい価値、方法、世界を実現しよう、という広大な考え方です。

昨年10月に「エコロジカル・デモクラシー財団」が世田谷を拠点に設立されました。去る5月28日には研究・実践を通して「エコデモ」を提唱されたカリフォルニア大学のランドルフ・ヘスター（ランディ）教授が来日して講演をされました。

シンポジウムに参加し、エコデモの世界を紹介してみたいと思います。



シンポジウム「エコロジカル・デモクラシーという都市デザイン」

エコとデモクラシーを結ぶ

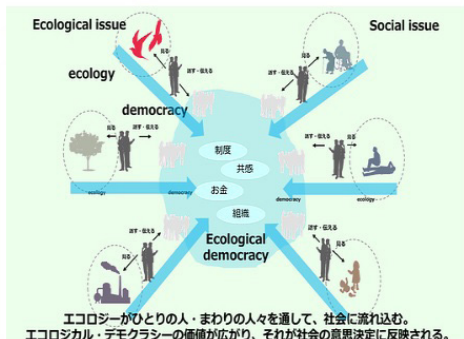
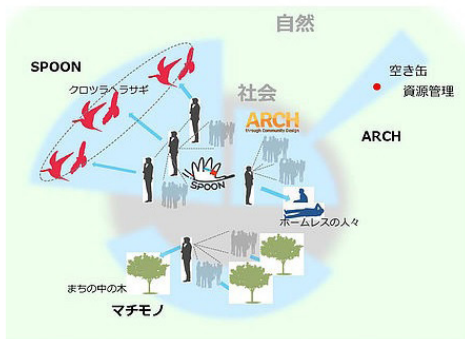
「エコロジカル・デモクラシー財団」の代表理事、土肥真人さん（東京工業大学准教授）は、「世田谷まちづくりファンド」の運営委員長を5年間務め、区民主体のまちづくりに大きく関わってきました。出会ったときに、熱く楽しそうに語る土肥さんと研究室の若い学生たちに、「夢」と実現可能な「未来」を感じ、「エコデモ」の考え方に興味がわきました。

そして、5月28日、東京工業大学大岡山キャンパスで、財団主催の特別シンポジウム「エコロジカル・デモクラシーという都市デザイン」が開催されると聞き、さっそく取材に向かいました。

シンポジウムではまず、財団設立の趣旨が説明されました。土肥さんは「自然を直すと社会が治る、社会を直すと自然が治る、という不思議な回路が存在します。今ま

で別々に展開されることの多かったエコロジー運動とデモクラシー運動を結びつけ、自然と社会の問題を一体として解決する方法を模索する『エコロジカル・デモクラシー（以下、エコデモ）』を実践するため、昨年に財団を立ち上げました」と話します。

続いて土肥さんの恩師でもあるエコデモ提唱者のランディさん（ランドルフ・T・ヘスター・カリフォルニア大学名誉教授）の講演が行われました。ランディさんは米国内外で数々の都市計画に関わる中で、エコロジーとデモクラシーを統合する必要性を訴え、また統合の過程で地域コミュニティが重要な役割を持つことを強調しています。その豊富な経験から得た知見をまとめた著書『エコロジカル・デモクラシーのデザイン』は日本の都市計画の専門家の間でも高く評価されています。



これまででは自然と社会の問題は別々に
取り組まれていることが多かった



多くの分野を結びつけ、自然と社会の問題を
一体として解決しようとする新たな動き
(エコロジカル・デモクラシー財団HPより)

都市デザインに
コミュニケーションの知恵を活かす

ランディさんは同書の中のエピソードから、「エコロジカル・デモクラシー」の具体例を紹介しました。

例えば、米国ノースカロライナ州マントン市のウォーターフロント再開発計画では、地域の人びとに、これからの守り続けたい大切な場所をマッピングしてもらい、これを生かした形で計画をつくりました。さらに建設段階でも多くのボランティアに参加してもらうなど、地域のコミュニケーションと知恵を生かしたことが成功につながった、と語ります。

また、台湾・台南市の、クロツヘラサギ(絶滅危惧種)の生息地である湿地帯に、工場団地を建設することが計画されたときは、地元の漁師たちと協力し、科学者と漁師たちそれぞれの知見を補い合わせて環境保全運動を展開し、

計画地を変更することができました。

ランディさんからは、このような取り組みを通じて獲得したエコロジカル・デモクラシー実践のヒントが具体的にたくさん語られました。

さらに、まちづくりの実践と理論化に取り組んでいる早稲田大学教授の佐藤滋さんの講演では、「日本のまちづくりは様々な主体がバラバラに頑張る中で、これらが組み合わさってエネルギーが生まれ、ひとつのものができていく。そうした経験の積み重ねを方法論化していくことが大切」などの見解が示されました。

この後のパネルディスカッションでは、「まちづくりにおいて、専門家の知識と地域の生活者の知恵をどう関係づけるか」との問いに対し、ランディさんは「専門家には科学的知識に基づく計画づくりが求められます。しかし、これは地域の人びとの知恵をないがし



『Design for Ecological Democracy』の著者ランディ氏（写真右）とマーシャ氏

ろにするものではなく、両者の相互対話が重要です」と応えました。

また、ランディさんが著書で、「エコロジカル・デモクラシーでは楽観主義が大切」と記していることに關して、土肥さんは「運動の中で、大きな壁にぶつかっても、へこたれないで歩いて行く、という心の持ち方が大事」と話し、佐藤さんは「根拠のある楽観主義となるように、これまでの積み上げを検証し、仲間内だけでなく社会に広げていくことが必要」との認識を示しました。

最後にランディさんが「エコロジカル・デモクラシーはまだあち

こちに種が散在しているに過ぎませんが、やがて芽を出して、花開くでしょう。それこそが、厳しいこの現実社会をよりよくしていくことにつながります」と展望を語りました。今回のシンポジウムはとくに若い世代の参加が多く、これからの日本における「エコロジカル・デモクラシー」の展開が期待されるイベントとなりました。

「エコデモ」を発見・観測する

シンポジウムに参加して、どうやら、「エコデモ」は地球全体の大きなスケールの概念でもあるけれど、実は私たちの身の周りの「日常」の中にも見え隠れしているもののように感じました。新しい価値である「エコデモ」を、なぜ、どうやって日本に広めて行くのかというのをもう少し知りたくて、後日、あらためて東工大の土肥研究室を訪ねました。

ホワイトボードには近隣のまち

の地図やマッピング図が貼られ、「あれもこれも」が主張しながら雑然と置かれ、若い人たちが自由に出入りする部屋はエコデモの発信地。

土肥さんは「エコデモはすでに、そこにもここにも存在しているんです」と言います。「ないものを想像するのではなく、現実にあるものを観る、というのが基礎的な作業です。エコデモだと思ふところを訪ね、活動している人が気づいていない価値を見出し、それを束ねてエコデモの価値を同時につくっていきます。そうするとひとつひとつの活動はバラバラで小さくても、深いところにある大きな価値でつながっていることがわかります」

発見・観測の過程でヒアリングをし、出会ったグループは15団体。「世田谷まちづくりファンド」の運営委員長を務めて世田谷のまちづくりと繋がったことはとても大きい、と土肥さんは話します。

ボランティアは 支え合いエコロジー

続けて、「近代になり、人間は環境とコミュニティから離脱して、自由と平等、平和という普遍的な価値、民主主義を手にししました。しかし、種としての生存をかけた共感と美という価値を置き忘れてきてしまったようです。もう一度ここで2つをつなげたい。今、求められているのは、種として生き残るための支え合いエコロジー、それがボランティアです。目の前にいる人を助けていく、で



写真左が土肥先生。右は事務局の吉田さん。

もそれ以上のこと、種としての人間に関わるのがボランティアの『セボネ』なのでしょうね」と土肥さんは言います。日常のボランティア活動の中に、自然と社会のつながりを意識した、人と人、人と自然が支え合う活動、つまり「エコデモ」を探し、発見をしていくことが、大きな価値に束ねられて「社会を見直す」ことにつながっていくのでしょうか。

自然の環のなかにいる自分

土肥研究室は若者のアイデアが溢れています。人は水の循環の中に生きていて、だれもがどこかの川の流域に属しているといえます。そこから発想した、自分の暮らす地域や故郷の川の名前を付したりバーネームの「名刺プロジェクト」もそのひとつ。生態系における自分の位置を示すツールで、ちなみに土肥さんの名刺には、「多摩川―谷沢川」と書かれています。



自分にゆかりのある川を名刺に刻む。誰もが使うことのできる交流ツール。

このカードを会った人に渡すことで、話がどんどん膨らみます。

東アジアに生息する絶滅危惧種のクロツラヘラサギを応援する「SPOON」の活動では、クロツラヘラサギの個体につけている「足環」を模した指輪を賛同者に渡しています。クロツラヘラサギの生息は、多様な豊かな生態系があることの証となります。

さあ、私たちも身の周りの「エコデモ」探しの旅に出ませんか？

(取材／編集委員 佐藤研資・

星野弥生)



親子で楽しめるライブイベントを

おひるのかほり

まちの

市民力!!

取材・市川 徹

街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



「おひるのかほり」は、子どもも大人も楽しめるライブイベントを下北沢中心に開催している音楽好きな4人のグループ。その名を冠した「おひるのかほり」というライブを企画し、2010年から毎年開催しています。今回はメンバーのひとりである山崎久美子さんにお話をうかがいました。

そもそもの活動のきっかけは、子育てをしていると夜のライブに行けないこと。ならば、音楽好きな人たちを呼んで、子どもも大人も、本格的な音楽が楽しめる場所をつくろうと始めました。ライブは毎回30〜50組の親子が来るほど盛況で、多様な楽器に触れてもらっ

たり、創作ワークショップもセツトで行うなど、子どもの体験を大切にしています。

こだわりは、4人がいいと思つたアーティストしか呼ばないこと。つながりがあるアーティストのほか、ライブに行つてスカウトすることもあります。そうした努力により、常に、質の高いライブを開催しています。

最近では、地域とのつながりも生まれています。山崎さんが経営する「かまいキッチン」のある路地「やなかもストリートマーケット」で、2015年から近所のお店と一緒に、出店とライブを企画・開催しています。今では、下北沢音楽祭の一プログラムとしても実

施されています。

「出店だけだとお客さんが限られてしまうけど、音楽だと幅広い世代の人が足を止めてくれる」と山崎さんは言います。対象は子どもに限らず、アートの要素を入れたい、屋外で楽しめるように工夫して、音楽を地域に拡げていきたいと思っています。

今の一番の悩みは資金と時間の確保。メンバーはそれぞれ他に仕事や子育てをしていることもあり、なかなかやりきれないのが現状です。一方、パーティーなどでの出前ライブのプロデュースが徐々に増えてきて、それが資金獲得につながる可能性もみえてきました。

本格的な音楽をだれでも気軽に楽しめる機会は少ないので、4人の今後の活動に期待です。7月8日〜9日には、やなかもストリートマーケットでライブがあります。下北沢をブラブラお散歩してみてはいかがでしょう？

せたがや災害ボランティアセンターレポート 4月～6月の動き



■『体験型防災フェア』に出展しました
5月28日（日）三軒茶屋ふれあい広場で行われた「体験型防災フェア」に参加し、「世田谷区災害時ボランティア受入体制整備事業」のPRをしました。

他にも消防車の実演や起震車体験、けむり体験など盛りだくさんの出し物で、大勢の来場者がありました。



■福島県川内村 交流支援活動

4月：ぶどう畑の苗植え、マラソン大会のお手伝いで2回行きました。

5月：コスモスの種まきとぶどう畑で草刈り、霜よけの養生外し、夜は地元の方と交流会で盛り上がりました。お楽しみ企画として「あぶくま洞」（鍾乳洞）へ足を延ばしてきました。

8月の参加者も募集しています。



■コーディネーター養成講座を開催

6月10日（土）昭和女子大学の会場で、「災害ボランティアマッチングコーディネーター養成講座」を開催しました。

学生と地域の方、あわせて約100名の受講者があり、マッチングシステムのマッチングセンターでの受付から送り出しまでを模擬体験しました。昨年の受講者や昭和女子大の学生のお手伝いもあり、盛会でした。次回は、9月16日（土）国土舘大学にて開催予定です。

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れています。
詳細は P10 ~ 15 をご覧ください。

地域・ボランティアで活動する女性のための
わがやのコミュニケーション・ワーク
9/16、30、10/7 (土) 10時半~15時半
代田ボランティアビューロー P14

rt215

el P14

やがやなつまつり

15時~19時半

光明学園

まつり実行委員会 P14

災害ボランティアマッチング
コーディネーター養成講座

9/16 (土) 13時半~16時半

国士舘大学

せたがや災害ボランティアセンター P15

●小田急線沿線

- ☆声掛けをしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆外出に同行してくださる方募集 詳細 P10
- ☆タごはん会の調理・買い物担い手募集 詳細 P10
- ☆自宅の清掃をしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆音訳ボランティア募集 詳細 P11
- ☆小1男子の学童からの帰宅付き添い募集 詳細 P12
- ☆日曜スール アルバイト募集 (有償) 詳細 P12
- ☆宿泊行事のサポーター募集 (有償) 詳細 P13

せたがやチャイルドライン 受け手養成 公開講座

7/1, 8, 15 (土) 午後

世田谷ボランティアセンター 詳細は P14

NPO・市民活動相談

事前にお電話でお問合せください。
世田谷ボランティアセンター P15

日本文化にふれて愉しむワークショップ

7/7 (金) 10時~12時半

7/22 (土) 16時~

玉川ボランティアセンター P13

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

☆精神障害者の当事者の会のサポーター募集 詳細 P11

☆4才の女の子のリハビリボランティア募集 詳細 P12

●世田谷線沿線

☆サマーフェスティバル(音楽祭)ボランティア募集 詳細 P11

●東急線沿線

☆小3のプール付き添いボランティア募集 詳細 P11

☆小3女子の送迎ボランティア募集 詳細 P11

☆トイレ介助ボランティア募集 詳細 P12

☆コミュニティカフェの調理スタッフ募集(有償) 詳細 P13

ナツボラ&ナツボラ・ジュニア

【ナツボラ】申込 7/2, 9(日)11時~

【ナツボラ・ジュニア】申込 7/3(月)10時~

詳しくは P15 をご覧ください。

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。

他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさ』を書き入れてみてはいかがでしょうか。

★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安には是非ご活用ください。

もっと語ろう不登校 pa

7/8 (土) 14 時~

人の泉・オープンスペース B

第 38 回が

7/23 (日)

都立

がやがやなつ

ボランティア求む

声掛けをしてくださる方を探しています

昨年10月に脳出血で病院へ入院し、リハビリをされている50代の男性の方ご家族が、声掛けをしてくださる方を探しています。

本人のリハビリのために、声をかけたり、新聞を読んだり、本を読んだり、DVDを見せたりしたいと思うものの、子どもが小さく家族はなかなかお見舞いに行けず、思うようにできません。

離れて暮らすご家族が来られな

外出に同行してくださる方を探しています

2年前から全身に痛みが出る病気になるれた、経堂にお住まいの20代の女性の方が外出に同行してくださる方を探しています。日によって痛みが強い場所が変わるので、歩くことや荷物を持つことが難しくなることがあります。外出と一緒に付き添ってくださると安心があり、また、買い物をして荷物もてない時などに荷物を持って下さったりしてくださる方を探しています。電車のすいている時

い時に、声掛けをしたりしてくださる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／平日13時～20時、土曜・休日9時～20時の間のご都合の良い時間で

●場所／千歳船橋の病院の病室で

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuk@otagaisama.or.jp

間帯に電車で移動したり、近隣を散歩したり、バスで出かけたりできたらと思っています。

●日時／ご都合の良い時間を教えてください、その都度ご相談できたらと思っています。

●条件／女性。交通費は依頼者負担

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuk@otagaisama.or.jp

「代田タコはん会」調理・買い物担ってくれる方募集

代田ボランティアビュローでは月に一度、ご近所の老若男女が集まって「みんなで作ってみんなで食べる」タコはん会を行っています。「ひとりて食べるよりおいしく感じる」「ご近所に気軽に挨拶できる知り合いが増えた」と好評です。

タコはん会で、中心となって準備を担ってくれるメンバーを募集中。調理以外にも、お買い物や献立決め、片づけなど、得意なことでの参加をお願いいたします。まずは一度、ごはんを食べにいらしてみませんか？

自宅の清掃をしてくださる方募集

代田にお住まいの目の不自由な女性が、週に2回くらい自宅の清掃をしてくれるボランティアを探しています。緊急介護人制度を使えば、1時間1000円が支払われます。なるべく近隣にお住まいの穏やかな女性の方を求めています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／火曜日午後と、第1・3金曜日の午前か午後、各1時間くらい（曜日お相談可）

●日時／毎月第3水曜日 16時半～準備、18時頃いただきます、片づけ後、20時までは解散

●場所／代田ボランティアビュロー 1階

●交通／世田谷代田駅南口すぐ

●募集人数／数名（タコはん会の定員は12名）

●参加費／1回500円（食材費、保険料）

●問合せ／代田ボランティアビュロー

TEL 3419・4545

databor@otagaisama.or.jp

●場所／自宅（代田2丁目）

●交通／世田谷代田駅徒歩3分

●募集人数／1～2名

●条件／近隣にお住まいの穏やかな女性の方。1時間1000円（緊急介護人制度に登録をお願いします）

●問合せ／代田ボランティアビュロー

TEL 3419・4545

databor@otagaisama.or.jp

東

プールの付き添いボランティア募集

小学校の普通学級に通っている3年生の女の子が、学校のプールで付き添ってくれる女性を探しています。知的障がいがあり、着替えの手伝いとプール内の付添いが必要です。プールの大好きな明るい女の子です。一緒にプールを楽しんでくれる方、お待ちしています。

●日時／7月25日(火)・26日(水)・28日(金)、7月31日(月)・8月4日(金) 9時55分～11時半

●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanabohara@otagaissama.or.jp

世

せたがや2017 サマーフェスティバル ボランティア募集

区内の中学・高校の吹奏楽部の発表のほか、障害児・者の団体なども出演し、音楽を通じて、「子どもたちが輝くまち」を育みます。このイベントの受付、会場整理、裏方など、お手伝いいただける方を募集しています。多くのみなさまのお手伝いが必要です。ご応募お待ちしております。

●日時／7月29日(土) 10時～16時の間で相談。7月24日～31日まで事前事後のお手伝い(チラシ貼り、後片付けなど)も募集
●場所／世田谷区民会館
●交通／松陰神社前駅徒歩5分
●問合せ／社会福祉法人 宝満福祉会 担当 南北(なんぼく)
TEL 6805・5600
nanboku@homan.or.jp

東 小3女子の特別支援学級への送迎ボランティア募集

小学3年生の女子が小学校へ通う際の送迎をして下さる方を求めています。現在は祖母が送迎していますが、だんだん大変になってきました。おとなしい、歌が好きな女の子です。週1回でもお手伝いしていただけると助かります。

●行程／自宅(深沢5丁目)からバス乗り継ぎ↓徒歩5分↓校町小学校、帰りは学校↓自宅
●条件／お近くにお住まいの方、男女不問
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528

小

音訳ボランティア募集

世田谷録音奉仕グループひびきは、梅丘で39年間、視覚障害者のための録音図書を作り続けています。デジタル録音、デジター編集など一緒に活動して下さる方を募集しています。興味・関心のある方は、ぜひお問合せください。

●日時／例会は毎月第1、第3火

●曜日／午前中(作業によっては午後もあり)
●場所／梅丘ボランティアビューロー(録音、編集作業は自宅)
●年会費／10000円
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520

京

精神障害者の当事者の会のサポーター募集

精神障害者の当事者の会アドジャストでは、会の運営のサポートをして下さる方を探しています。アドジャストは月1回、烏山区民センターなどで当事者と、当事者の家族、専門家の方などが集まり、日ごろの不安や悩みなどを話し合う会を開催しています。

会の書記、チラシや入会案内

●どの作成・印刷、問い合わせのメールの対応等をサポートをして下さる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。
●日時／会合は月1回程度(不定期開催)
●問合せ／アドジャスト 担当 猪俣
080・9413・3454

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。8月号掲載は7月10日(月)に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

小

小1男子の学童からの帰宅付き添い募集

砦に住んでいる小学校1年生の男の子がBOP(学童)から家に帰るときの付き添いをしてくれる方を探しています。普段は親御さんがつきそっていますが、できないときに、小学校まで迎えに行つて一緒に自宅に帰ります。すでにボランティアがひとり決まっています、無理せず2人でサポートする予定です。人なつこい明るい男の子です。子どもが好きなら

京 4才の女の子のリハビリボランティア募集

脳に障害のある4歳の女の子が、ドーマン法というリハビリプログラムを実施しています。ドーマン法は脳の障害を治すためのプログラムでアメリカにドーマン研究所があります。手や足を動かすバタニングというリハビリがあり、大人3人の協力が必要になります。毎日数時間行つたため、たくさんの方の協力が必要です。セボネ等と呼ばれて、現在10名の方が交代で協力してくださっています。週一回1時間でも、月に一回でも、ご協力いただける方はご連絡

方、ご連絡をお待ちしています。

●日時/月に1〜2回程度(おむね2週間前にわかります)18時に学校にお迎え。自宅まで徒歩約20分。

●場所/世田谷区立明正小学校

●条件/女性。交通費支給(上限あり)

●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528

絡ください。ドーマン法の経験がある方、大歓迎です。また、経験のあるご家族にお話を聞きたいというので、ぜひご連絡をお願いします。

●日時/要相談

●場所/世田谷区粕谷1丁目

●交通/千歳烏山駅徒歩10分

●条件/子ども好きな女性、非喫煙者、交通費支給(上限あり)

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 植田

TEL 5712・5101
ueda@otagaisana.or.jp

東

トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助(パッド交換)のボランティアを探しています。現在、複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のある方もない方も、まずはお問い合わせください。

●日時/火曜 12時40分〜13時

有償スタッフ募集

小

日曜プール アルバイト募集

『スペースえるぶ』は18歳以上の障がいのある人・ない人が「共に」参加し、対等な仲間関係づくりを目指して活動しています。

成人の余暇活動としてのプールを一緒に楽しく盛上げてくれる方を募集しています。泳法指導メインではなく、個別自由時間(泳ぐ人、潜ったり浮かんだり水の感覚に浸る人、おしゃべりメインの人)や全体プログラム(ダンスやゲーム等)を盛り上げてくださ

(頻度は応相談)

●場所/二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階

●募集人数/1〜2人

●条件/年齢・性別・資格不問。交通費応相談

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528
tanabara@otagaisana.or.jp

●日時/月2回(第2・第4日曜)9時15分〜12時15分(プールの活動は1時間程度)

●場所/粕江あいとびあセンター4階 室内温水プール

●交通/粕江駅徒歩10分

●募集人数/2名(男女1名ずつ)

●条件/時給1000円、交通費

●問合せ/スペースえるぶ 担当 堀内

TEL 3480・2808
e-r-bu@mdpoint.ne.jp

東 コミュニティカフェの調理を担ってくださる方募集

田園都市線沿線にてコミュニティ
イカフェのオープンを予定してい
ます。世田谷ソーシャルビジネス
プレザンにて「みんなの居場所ミ
マモリカフェ」としてプレゼン
させて頂きました。お年寄りからマ
マも子ども楽しめるイベント等
も企画し、地域の方々が気軽に集
え、仲間とつながれる、「みんな
の居場所」を目指しています。お
いしい物を食べて遊んで、ほっこ
りできる場所をつくりまます。

お料理でみんなを笑顔にしませ
んか。合わせてホールスタッフも
募集します！

- 日時／勤務日・勤務時間応相談
- 場所／田園都市線沿線
- 条件／スウィーツが得意な方、
歓迎！
- 問合せ／ハートネットカフェ
担当 平塚
060-9138-0097
daybreak1900023@yahoo.co.jp

小

9月宿泊行事のボランティア募集

おります！

障害者が通所している施設の宿
泊行事で、国立オリンピック記念
青少年総合センターに一泊しま
す。車椅子の移動介助やレクリエ
ーションなど、利用者と楽しい時
間を過ごしてくださる方を大募集
しています。

障害者のボランティアが未経験
の方も大歓迎です。素敵な思い出
と一緒に作りましょう！ 1日
だけの参加も可能なので気軽に
お問い合わせください。お待ちこ
て

- 問合せ／世田谷区立三宿つくし
んぼホーム
TEL 3411-4711
tukushi@lakeocean.jp
- 交通／参宮橋駅徒歩7分
- 条件／謝礼あり
- 問合せ／世田谷区立三宿つくし
んぼホーム
TEL 3411-4711
tukushi@lakeocean.jp

講座・その他・募集

小 楽器募集中（鍵盤ハーモニカ・リコーダー）

「国境なき楽団」は、下北沢に
事務所を構え、音楽を通じて人の
心と心を繋げる活動を行い、使わ
れなくなった楽器を修理し、途上
国の子どもたちへ楽器を送る活動
をしています。7月のモンゴル・
スタディーツアーでは、孤児院に
訪問し、日本で集めた楽器をモン
ゴルの子どもたちに届ける活動を
予定しています。ですが、子ども
たちに届ける楽器が足りていま

ません！ 鍵盤ハーモニカやリコー
ダーなどの楽器を募集しています！
家庭で使わない楽器や捨てよう
と考えていた楽器はありますか？
寄付して頂ける方はご連絡下さ
い。ご協力お願いいたします。

- 募集期間／7月10日まで
- 問合せ／特定非営利活動法人
国境なき楽団
info@gakudan.or.jp
http://www.gakudan.or.jp

東 日本文化にふれて愉しむワークショップ

東京オリンピックに向けて、日
本文化や日本の伝統に関心が高ま
っています。この機に、日本の文
化にふれて愉（たの）しんでみま
せんか？

- 日時・内容／①7月7日（金）
10時～12時半 日本の歴史と文
化の発展（江戸時代、ゆかた
の着付け・練習（着付けに関心
のない方は歴史談義）
②7月22日（土）16時～ゆかた
の着付け、9時～地域の盆踊り
に行こう！（おにぎりに付き）
- 申込み・問合せ／玉川ボランテ
ィアビューロー
TEL 3707-3528
tamaborata@otagaisama.or.jp
- 場所／玉川ボランテ
ィアビュー
ロー
- 対象／日本や日本文化に関心
のある方どなたでも
- 参加費／1回500円（ただし
1回目参加者は、2回目無料）
※ゆかたがある方は持ってきてく
ださい。ない方は、申込み時
にお伝えください（貸出あり）

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベント
など情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。
8月号掲載は7月10日（月）に締め切ります。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 地域・ボランティアで活動する女性のための
わがちあいのコミュニケーション・ワーク

「言いたいことが言えない……」
「これでいいのかな?」「もっと、
みんなが気持ちよく活動できたら……」
地域・ボランティア活動を
始めると、いろいろな人とのコ
ミュニケーションの機会がぐんと
増え、時には疑問やもどかしさを
感じることもありませんか?
さまざまなワークを体験しなが
ら、コミュニケーションのヒント
と一緒に学びましょう。

●内容/自己紹介ワーク、アサー
ション・ワーク、ポスターセッ
ション、演劇的ワークなど。
3日連続講座です。詳細はお問
い合わせください。

小 第38回がやがやなつまつり

ここに集まったみんなが、この
なつまつりでともに遊び、楽しん
で知り合って、これからも仲良
くこのまちで暮らしていけるよう
に。

●日時/7月23日(日) 15時~19
時半(雨天決行) 参加無料

●日時/9月16日、30日、10月7
日 土曜日 10時半~15時半
(7日のみ14時まで)

●場所/代田ボランティアアビュ
ロー 2階

●参加費/5000円(3日分)
*最終日ランチ交流の材料費と
して、別途3000円程度予定。

●条件・定員/女性12名(3回
連続で参加できる方を優先に
申込先着順)

●申込み・問合せ/代田ボランテ
アビュロー
TEL 3419・4545
dairabora@otagaisama.or.jp

●場所/都立光明学園
●交通/梅ヶ丘駅徒歩2分
●内容/模擬店15時~、ステージ
15時半~、花火19時5分頃~
●問合せ/がやがやなつまつり実
行委員会 担当 瀧
090・8434・0390

東 チャイルドライン受け手養成 公開講座

18才までの子どものための電話
「チャイルドライン」の受け手を
養成する研修の一環です。子ども
と直接関わってきた講師陣の生の
声やワークを体験して、せたがや
チャイルドラインの「聴く」を体
感してみませんか。興味のある回
だけでもご参加いただけます。

●日時・内容/

⑤7月1日(土) 13時~15時15分
ワーク「子どものことばに、ふ
れてみる」 田野浩美

⑥7月1日(土) 15時半~17時45
分 講義「いじめと不登校」
経験者の立場から」 須永祐慈

⑦7月8日(土) 15時~17時半
講義「子どもが置かれている現
状と関係機関の役割」 和田芳子

世小 「もつと語ろう不登校 part 215」

これまで22年にわたって、さま
ざまな方がたの分かち合いの場と
なってきました。「自分だけでは
なかったんだ」と知るだけで心が
軽くなります。初めての方もお誘
い合わせの上、どうぞお気軽にご
参加ください。

●日時/7月8日(土) 14時~

⑧7月15日(土) 13時~15時15分
ワーク「コミュニケーションの
体験」 山本多賀子

⑨7月15日(土) 15時半~17時45
分 講義「思春期の性・男子の
性・性のこと、話せますか?」
村瀬幸浩

●場所/世田谷ボランティアセン
ター

●参加費/1講座2000円
(学生半額)

●申込み/メールまたはFAX
●問合せ/せたがやチャイルド
ライン事務局
TEL 5712・5101
FAX 3410・3811
childline@otagaisama.or.jp

●場所/人の泉・オーブンスペー
スBe! (赤堤1・15・13)

●参加費/3000円(カンパ歓迎)

●交通/山下駅徒歩6分

●問合せ/世田谷こどもいのちの
ネットワーク第3分科会「もつ
と語ろう不登校」担当 佐藤
TEL 5300・5581

世小

災害ボランティア マッチングコーディネーター 養成講座

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。大勢の方の受講をお待ちしております。

講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願いします。（希望者のみ）

●日時／9月16日（土）13時半～16時半

●会場／国士舘大学

●交通／梅ヶ丘駅徒歩9分

●参加費／無料（要申込）

東 NPO・市民活動相談 ご活用ください

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談にも応じています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団体問わず相談可能です。まずは電話

●申込み／お電話かメールでお申込みください。メールの場合、件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号をご記入ください。

●主催／世田谷ボランティア協会 世田谷区

●問合せ／セタがや災害ボランティアセンター

TEL 5712・5101

sejya@otagaisama.or.jp

お電話は開館時間内をお願いします。（火）金曜 10時～22時、土日は20時まで）

※月曜・祝日休館

話でお問い合わせください。（相談無料。事前予約制）

●日時／7月5日（水）15時～16時（他の日でもご相談ください）

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎

TEL 5712・5101

（月曜・祝日休館）

ナツボラ・ジュニア 参加者募集

小学生向けの夏休みボランティア1日体験プログラムです。体験を通じて支えあいの心や、生きる力が育まれることをめざしています。ぜひご参加ください。

●対象／区内在住・在学の小学生とその保護者

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

●申込み／7月3日（月）10時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

東夏のボランティア体験「ナツボラ2017」

夏のボランティア体験プログラム「ナツボラ2017」、初めてのボランティアを応援します。詳しくはホームページをご覧ください。

●対象／区内在住・在学・在勤の中学生～30歳くらいまでの方

●申込み／7月2日、9日（日）11時～14時（予約不要）必ず本人が来所、代理申込み不可。先着順。

●申込み／7月20日（木）、28日（金）8月2日（水）13時～14時半（要予約）

●オリエンテーション／申込日同日の14時半～17時

10時～16時半）

●参加費／1名500円（別途ボランティア保険代300円）

●体験期間／7月21日（金）～8月31日（木）

●受付・問合せ／各ボランティアビューローへ（月曜・祝日休館）TELは16ページののとおり

http://www.otagaisama.or.jp

●受付会場／世田谷ボランティアセンター 2階

●参加費／1200円（別途ボランティア保険代300円）

●体験期間／7月18日（火）～8月31日（木）の間で3日程度

●体験内容／保育園、プレパーク、高齢者施設、障がい者施設、NPO・NGO団体など

※活動プログラムはホームページにて公開中

●問合せ／世田谷ボランティアセンター

TEL 5712・5101

natsubora@otagaisama.or.jp

http://www.otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

いよいよナツボラの季節がやってきました! ボランティアが初めての学生さん、ぜひ参加してみませんか? ナツボラに5年連続で参加してくれている方、今年も来てくれるかな?

◆ふらっと&withより

電動車いすユーザーのAさん。夏を前に、腕の日焼け跡がくっきり。毎週末、外出を楽しまれているんですね。熱中症には注意して下さいね!

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

7月は土曜日の午後に、受け手養成講座を開講します。子どもの問題に関心のある方、子育ての参考になりたい方、興味のある回のみのお参加もおまちしています。

編集後記

■授業で話を聞いてくれた高校生が後日ボラセンを訪ねてきました。授業で紹介したプレーパークに、中学生が遊びに来たと聞きました。とある中学で出会った先生は「ボク、学生時代にボラセンにお世話になったんです」と話してくれました。蒔いた種がそれぞれのタイミングで芽を出し、花開いています。

■災害ボランティアマッチングシステム、区内各地区でのPR活動が加速しています。目頃からの顔が見える関係づくり、待ったなしの準備が進められています。

■小5の息子がふと、「友達が言ってたんだけど、「リア充」って何?」…どんな会話してんだ? (み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03・5712・5101
FAX 03・3410・3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
興梠 寛